



令和7年3月31日

南陽市議会議長 遠藤榮吉 殿

無会派 遠藤 榮吉

令和6年度会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第4条の規定により報告いたします。

| 項目 | 調査・研修内容 |
|------|--|
| 調査期日 | 令和6年11月12日(火)から14日(木)まで 2泊3日 |
| 調査場所 | ① 鹿児島県南九州市議会 ② 鹿児島県垂水市議会 |
| 調査目的 | ① 知覧平和会館について ② 「たるみず元気プロジェクト」の取り組みについて |
| 調査概要 | ① 知覧平和会館について (概要) ・南九州市は鹿児島県薩摩半島の南部に位置し、鹿児島市の市街地から約30km南西に位置し、南は東シナ海に面している。平成19年12月に、「旧瀬田町・旧知覧町・旧川辺町」の三町が合併し南九州市が誕生した。市名の読み仮名が9文字で日本の地方自治体では最も読み仮名が最長である。 知覧町郡は北部を厚地川、麓川、中央部を永里川が流れ、流域沿いに水田が開けている。南部には南薩台地が広がり、茶業と畜産を中心とした農業が行われており、茶の生産量は日本一で、知覧茶が有名である。 また、鹿児島藩政時代の名残りである武家屋敷群があり、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。 今回視察を行った知覧特攻平和会館は南九州市知覧町郡にある歴史博物館で第二次世界大戦末期に編成された大日本帝国陸軍航空隊の特攻に関する資料を展示されており、特攻で亡くなられた隊員の記録を後世に残し、その史実を通して「二度と悲惨な戦争を起こしてはならない」という平和のメッセージを発信し、平和の大切さ、命の尊さを語り継ぎ、世界恒久の平和に寄与することを目的としている。また、特攻平和会館周辺は知覧平和公園として整備されている。 (内容) 担当から、まず資料の収集・保存活動について説明があり、遺族が世代交 |

代しつづあり、資料の散逸等が予想されることから、資料の収集と保存展示に努め、特攻の史実を後世に正しく伝えるように努めており、広報活動としてインターネットやパンフレットに広告を掲載し、旅行会社・バス会社・鉄道会社・レンタカー店等の訪問を重ねて来館を促しながら、命の尊さや平和の大切さを知ってもらえる活動をおこなっているとのことだった。その後に語りべの方から戦争の悲惨さ、二度とこういう争いはしていけないという講話があり、改めて平和の大切さを知ることができた。

(所感)

今回の知覧特攻平和会館での視察では、戦争の悲惨さ、無常さを感じることができ、二度とこういう争いはしていけないという語り部の方の講話からも、平和の大切さを知ることができる貴重な行政視察となった。現在、世界の各地では紛争やテロが起こっており、世界平和のために私たちは何をすべきか考えさせられた。そして、今回の貴重な経験を市民や未来ある子供たちに伝えていかなければならないと改めて感じた。今後、語りべの方をお呼びして、市民や子供たちにお話を聞いてもらう取り組みを開催できるように活動を行いたい。

②「たるみず元気プロジェクト」の取り組みについて

(概要)

垂水市は鹿児島県の中部、大隅半島の北西部、鹿児島市から桜島を挟んで東向かいに位置している。市域西部は鹿児島湾に面し、中心市街地は海岸沿いの低平地を中心に発達しており、市域東部の内陸部はシラス台地と山地になっている。西側に隣接する桜島は以前は離島だったが、大正3年の大噴火に伴い瀬戸海峡が溶岩流により閉塞し、垂水市と地続きになった。松ヶ崎地区では2mほど灰が積もり、小学校が埋まって噴火前までの資料は不明となっている。

(内容)

平成28年10月から垂水市市長と鹿児島大学の石教授の意見交換が始まり、翌年「たるみず元気プロジェクト」が開始。そして平成29年度から、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学分野の石教授を「垂水市スーパーバイザー」に委嘱し、行政と医療が一体となり、「健康長寿・子育て支援」の新しいモデルケースの構築を進めていた。取り組みとして市民の健康状態等を調査し、より効果的な介入をすることで健康寿命の延伸を図り、事業継続により医療、介護職の人材確保につなげている。また、鹿児島大学、垂水中央病院、鹿児島県栄養士会、垂水市の連携によって実施している。①健康チェック、②健康チェック報告会、③派生事業の3つを柱として行うことで自身の健康度を知る活動を行っていた。詳細は下記のとおり。

| | |
|-----|--|
| | <p>①健康チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の市民が約18種類の検査を無料で受けることができる。 ・年間13回、開催。 ・参加特典として「QUOカード」「お楽しみ抽選」「健康ポイント」等、実施。 ・参加希望者に対し、タクシー送迎の対応。 <p>②健康チェック報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果表の配布，先生方による説明，個別相談会 <p>③派生事業（7点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症化高血圧 ZERO 教室 【大学，市】 ・コグニサイズ教室 【大学，市】 ・筋力，筋量アップ運動教室（サルコサイズ教室） 【大学，市】 ・脳血管スマートチェンジ教室 【市】 ・NexMo（健康長寿啓発事業） 【市】 ・YouTube 事業 【市】 ・人材確保事業 【市】 <p>（所 感）</p> <p>垂水市と同様の事業を行う場合、垂水市以上に大学や病院、各企業団体との連携強化を図って実施する必要があり、実際に同等レベルの大学や病院が本市には無いため、現実的に同様の取り組みを実施することは困難と感じた。垂水市の取り組みを参考に、多少規模を落として本市で可能な事業を実施することが大事であると考える。</p> |
| その他 | |